

4

「バリアフリー社会をめざそう」（障害者の人権）

実践する場面

- ①対象者 社会教育施設職員、行政職員等
- ②所要時間 120分

活動のねらい（ポイント）

- ①人権感覚を養うとともに、職場における配慮事項について考える。
- ②障害の有無にかかわらず、誰もが安心して生活できるバリアフリー社会の構築について考える。

準備するもの

カード（アイスブレーキング用）、資料（提示用）、ワークシート、アイマスク、アイマスク体験用コース案内図

進め方（展開例）

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料等）
15分	<p>導入</p> <p>◆学習の確認（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレーキング（10分）</p> <p>「仲間をさがそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①簡単な語句が書かれているカードを受け取り、確認する。 ②声を出さずに、同じ語句の人を探して集まる。 ③感想を出し合い、ふりかえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ [参加体験型学習の約束] の内容を伝える。 ⇒ P.5 の 4- (5) ・ カードの語句は「はる」（春・張る・貼る） 「かつ」（勝つ・カツ・活）など 簡単に複数の意味をもつものがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カード
<p>・ 音声言語を使わずにコミュニケーションを図ることの難しさに気づく。</p>			
100分	<p>展開</p> <p>◆アクティビティ1（35分）</p> <p>「職場に必要なコミュニケーションボードを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①既存のコミュニケーションボードを確認する。 ②自分たちの職場用のコミュニケーションボードを考える。 ③作成しているときの気持ちなどをグループでふりかえる。 ④グループで出た意見を全体に発表し、共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすくシンプルなものがよいことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料(提示用) ⇒ P.32 ・ ワークシート ⇒ P.33
<p>・ 音声言語以外のコミュニケーションの1つの方法を考えることで、配慮事項についての視野を広げる。</p>			

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料等）
	<p>◆アクティビティ 2（60 分） 「アイマスク体験」（疑似体験）</p> <p>① 2 人 1 組で、アイマスクをする人、誘導する人を決めて行い、途中で役割を交替する。</p> <p>②実際に建物内や街中を歩いて次のものや動作を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 種類の点字ブロック ・ 段差 ・ 受付カウンター ・ 出入口 ・ トイレ ・ スロープの昇降 ・ エレベーター ・ 自動販売機の商品の購入等 <p>③体験して感じたことについて意見を交換する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前にコースを設定しておく。特に、屋外に出る場合は、安全に留意する。 ・ 誘導する場合、体験者の利き腕の反対側に立ち、誘導者の肘又は肩につかまってもらうよう指示する。 ・ 誘導する人は半歩前を歩き、段差や曲がる方向の指示を短い言葉で明確に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイマスク ・ アイマスク体験用コース案内図
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイマスク体験をとおして、日頃何気なく利用したり通行したりしているところに多くの工夫や配慮がなされていることに気づく。 ・ 移動や施設利用等で、日頃危険性を感じていないような場所が危険だったり、日頃得ている情報が得られなかったりすることに気づく。 		
	<p>◆ふりかえり（5 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクティビティ 1、2 をとおして考えたこと、気づいたことを中心にふりかえる。 		
まとめ 5 分	<p>◆まとめ（5 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファシリテーターの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動のねらい（ポイント）をおさえる。 ・ 身近なできごとからテーマに関連したエピソードを紹介してもよい。 	

学習を深めるために

- ・ 「アイマスク体験」のかわりに、「車椅子体験」（P.61 参照）を取り入れてもよい。
- ・ 点字や手話などの学習を取り入れ、人権意識を高めていってもよい。

●参考

- ・ アイマスク体験が掲載（紹介）されているホームページ
URL <http://view-net.org/>
特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者情報雇用福祉ネットワーク
- ・ コミュニケーションボードが掲載（紹介）されているホームページ
URL <http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/safetynet/cboard.html>
セイフティーネットプロジェクト横浜（事務局／社会福祉法人横浜市社会福祉協議会障害者支援センター）
- ・ 点字ブロックが掲載（紹介）されているホームページ
URL <http://www.tsrc.or.jp/> 財団法人安全交通試験研究センター

コミュニケーションボード

みせ
お店

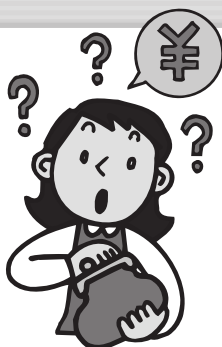
Shop



つた
わたしの伝えたいこと
What I want to communicate



どこに？
Where?



いくらですか？
How much?



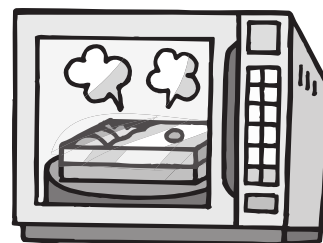
でんわしてください
Please call



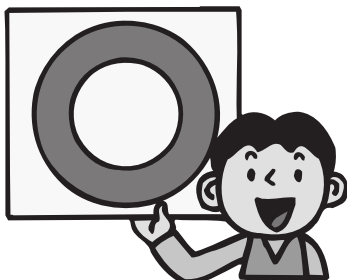
わかりません
I don't understand



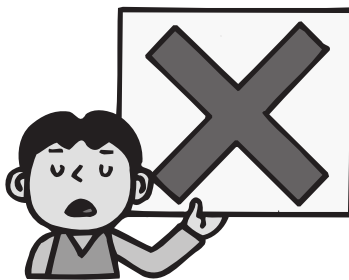
やめてください
Please stop



あたためてください
Please warm it



はい
Yes



いいえ
No



トイレ
Restroom

コミュニケーションボード

わたしの^{つた}伝えたいこと
